

みずほCustomer Desk Report 2024/03/04 号 (As of 2024/03/01)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	150.32
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.08	1.0807	162.15	1.2628	0.6501
SYD-NY High	150.72	1.0843	163.00	1.2664	0.6534
SYD-NY Low	149.94	1.0799	162.15	1.2600	0.6488
NY 5:00 PM	150.13	1.0841	162.69	1.2653	0.6526
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,087.38	90.99	日本2年債	0.1800%	0.0000%
NASDAQ	16,274.94	183.02	日本10年債	0.7100%	0.0000%
S&P	5,137.08	40.81	米国2年債	4.5324%	▲0.0895%
日経平均	39,910.82	744.63	米国5年債	4.1615%	▲0.0893%
TOPIX	2,709.42	33.69	米国10年債	4.1847%	▲0.0684%
シカゴ日経先物	40,220.00	915.00	独10年債	2.4120%	0.0125%
ロンドンFT	7,682.50	52.48	英10年債	4.1140%	▲0.0070%
DAX	17,735.07	56.88	豪10年債	4.1350%	▲0.0150%
ハンセン指数	16,589.44	78.00	USDJPY 1M Vol	7.66%	▲0.32%
上海総合	3,027.02	11.85	USDJPY 3M Vol	7.91%	▲0.24%
NY金	2,095.70	41.00	USDJPY 6M Vol	8.26%	▲0.09%
WTI	79.97	1.71	USDJPY 1M 25RR	▲1.54%	Yen Call Over
CRB指数	277.11	2.03	EURJPY 3M Vol	7.41%	▲0.26%
ドルインデックス	103.86	▲ 0.30	EURJPY 6M Vol	7.96%	▲0.06%

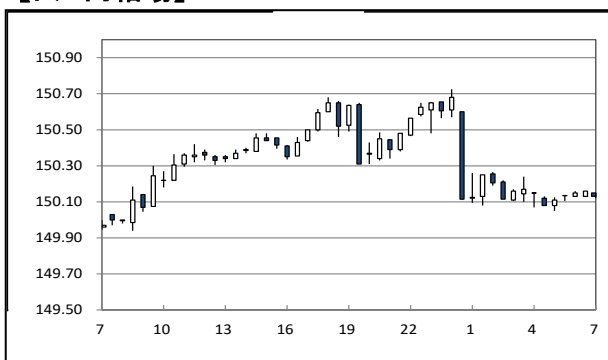
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月1日	07:00	日 植田日銀総裁 講演	-	「物価目標達成までには至っていない」
	10:30	中 製造業/非製造業PMI	2月 49.1/51.4	49.0/50.7
	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	2月 50.9	50.7
	19:00	欧 CPI(前年比/前月比)・速報	2月 2.6%/0.6%	2.5%/0.6%
	19:00	欧 失業率	1月 6.4%	6.4%
	23:45	米 製造業PMI・確報	2月 52.2	51.5
3月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	1月 -0.2%	0.2%
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 76.9	79.6
	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 47.8	49.5

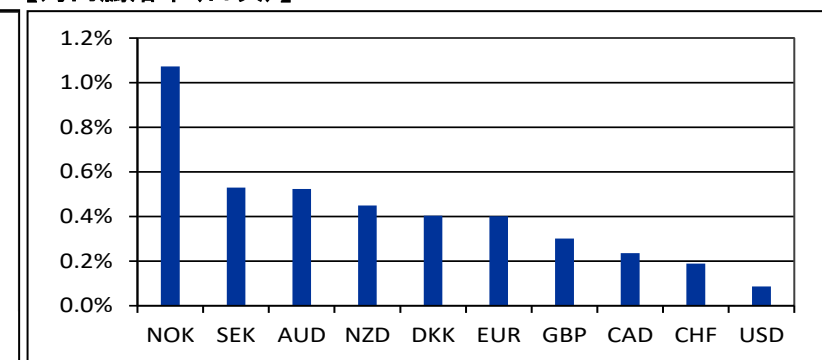
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月5日	01:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.50-150.50	1.0800-1.0900	161.50-163.00

【マーケット・インプレッション】

米2月ISM製造業景況指数が市場予想を下回り米10年利回りが低下したため米ドルは幅広く売られたが、唯一円に関しては、東京時間の植田日銀総裁のコメントを受けての円売り圧力が残り、150円台を維持して週末を迎えた。ただし、植田総裁の発言は決してゼロ金利解除を否定したわけではない。足許で米国が遅かれ早かれハト化し、本邦がタカ化する時期を模索していることに変わりはなく、ドル円が152円台にむけて上値トライすることは難しいと思われる。

東京	東京時間のドル円は150.08レベルでオープン。朝方の植田日銀総裁の「物価目標達成までには至っていない」との発言に多通貨での円売りが強まる中、日経平均株価の大幅上昇もサポート材料となりドル円は150円台半ばに底堅く推移した。結局、150.42レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は指標待ち、ユーロ圏指数出るも市場への影響は限定的。ロンドン市場のドル円は、150.42レベルでオープン。午後に米2月ISM指数など指標発表を控え、方向感なく小幅推移し、結局150.59レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0812レベルでオープン。ユーロ圏2月CPI速報値がヘッドラインとコアともに予想を上回り、一時は買いが入るものの大きな影響はなく、結局1.0813レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台後半でスタート。植田日銀総裁の「2%の物価目標の持続的・安定的実現について、現時点で達成が見通せる状況ではない」との発言が伝わると、円売りが優勢となった。その後は米金利の低下が重しとなり、150.59レベルでNYオープン。朝方は低下していた米金利が再度上昇するのを横目に、150.72まで上値を拡大。しかし、続いて発表された米2月ISM製造業景況指数ヘッドラインが予想を下回った結果や、米2月ミシガン大学消費者マインド指数も下方修正された事が嫌気され、米景気減速の懸念からドルが売られ、150円台前半まで下落。午後米ドル安の流れが続き、150.10付近で動き乏しい推移が続き、150.13レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。独金利が低水準で推移する動き上値を抑え、1.0810付近で上値重い展開が続き、1.0813レベルでNYオープン。午前中は1.08台を割り込み、1.0799まで値を下げる場面もあったが、その後弱い米経済指標の結果を受けたドル売り地合いから、1.0840付近まで反発。午後は米金利が低水準で推移する展開が支えとなり、1.0843まで値を上げる。その後も高値圏での値動きが続き、1.0841レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・西